

ミームス M-EMSとは

みえ・環境マネジメントシステム・スタンダードの愛称で、環境改善活動に取り組みたいと思っても費用や専任者の確保が困難な中小事業所の皆様に、費用や負担額が少なく、容易に取り組み、よりわかりやすい規格です。地域や地球環境への負荷の低減を図る活動に取り組むことによって、コスト削減等の環境経営を促進する仕組みです。全てのマネジメントシステムと同様に、P(計画)→D(実行)→C(チェック・見直し)→A(行動)のスパイラルアップの手順が構築され、マネジメントが身につきます。(右図)

M-EMSの特色

費用が少なく、わかりやすい規格であり、KES規格と同一の規格です。

1 シンプルなシステム

M-EMSの規格はISO14001の基本コンセプトと同じトップが定める「環境方針」に基づき、管理サイクルP,D,C,Aを循環させることによって継続的な改善を図ることにあります。中小規模事業所の状況や特性に応じた環境取組ができるよう2段階のレベルを設定しています。

ステップ1 規模や環境負荷が比較的大きくないところや環境問題に取り組み始めたところに適合

ステップ2 規模や環境負荷が比較的大きいところ、ステップ1を3年以上継続しているところに適合(ISO14001とほぼ同じ項目の規格になっています。)

ステップ2SR
ステップ2En M-EMSではさらに、ステップ2を拡張したSRを取り込んだ2SRとエネルギーマネジメントに取り組める2Enがあります。

また産業廃棄物事業所として「M-EMSステップ2W」の規格を用意しています。

2 少ない負担で取り組みます

M-EMSの審査員はボランティアベースで運用することとしたため、低コストで審査、コンサルを実行することを可能としました。内容や表現を取り組み易くし、負担を減らすため「構築の手引き」や「マニュアルの事例」等も用意しています。

3 血のかよったシステム

「共に悩み、共に考える」をモットーに審査、コンサルを行います。

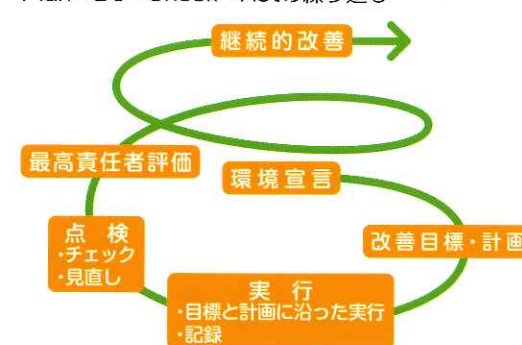
KES認証も同時に取得できます。

KES(KES・環境マネジメントシステム・スタンダード)認証のNPO法人KES機構と相互認証をしています。

M-EMS認証登録することで、KES認証も同時に取得となります。

産業廃棄物事業所はM-EMSステップ2Wを認証登録することで、エコアクション21と相互認証をしています。

PDCA
Plan→Do→Check→Actの繰り返し



M-EMS構築のメリット

*は事業者の声等

① コスト削減

環境と関係する経費を社員の自主的な活動のなかで削減することができます。

*環境に取り組む姿勢をお客様にほめられました。無駄を省いてコスト削減が実感できました。我流では限界があり、M-EMSで理論的に取り組めたことがよかった。

② 企業価値の向上・コンプライアンスへの対応

地球に優しい事業所、三重を大事にする事業所として、社会的にも地域でも評価があがり、企業価値が向上します。又、環境規制の法規制順守(コンプライアンス)に対応できます。

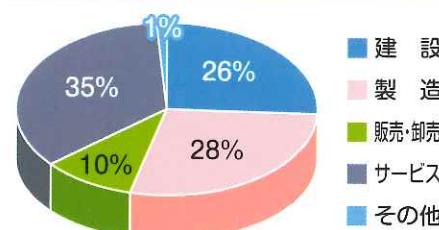
*また、三重県総合評価では、入札時ISO14001と、同等の加算点です。
*EA21との相互認証により、産廃優良事業者認定の要件に適用されます。

③ マネジメント力がつく

社員の意識が向上し一体感ができるとともに、仕組みが経営に役立ちます。

*M-EMS運用により、データが集まり(作業を)分析できるようになった。
*社員の提案力・責任感が向上した。また、全社で環境を考える姿勢ができた。

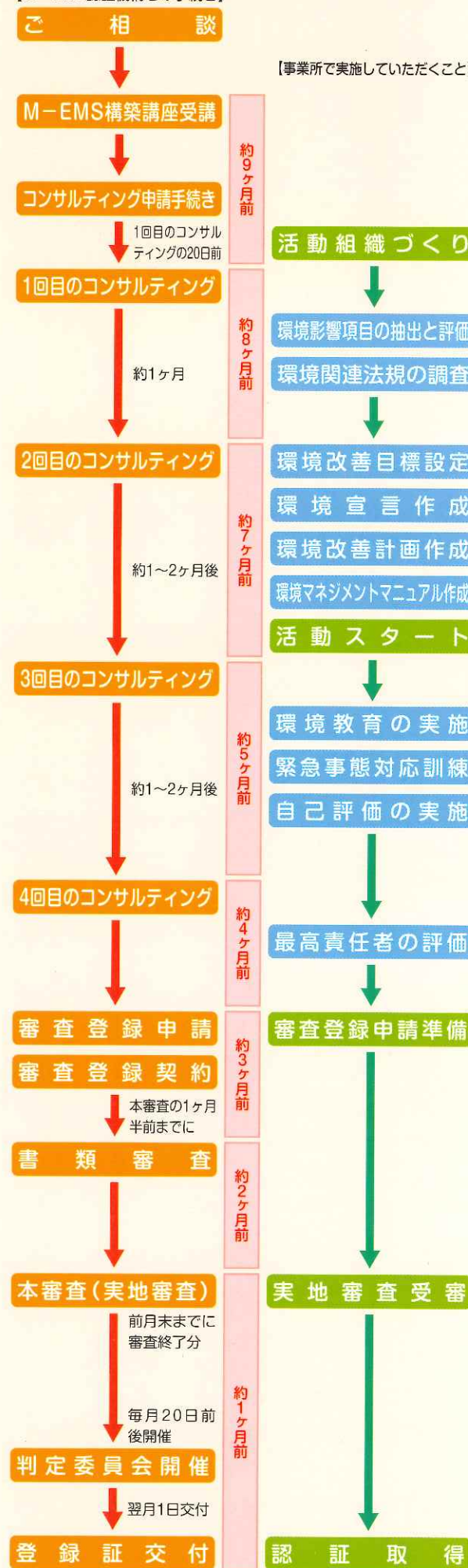
これまで多様な業種でM-EMSが取得されています



登録証交付の様子

M-EMS(ステップ2)の取組手順と取組内容

[M-EMS認証機構との手続き]



(ステップ1はもう少し短縮できます。)

ミームス M-EMSとは

みえ・環境マネジメントシステム・スタンダードの愛称で、環境改善活動に取り組みたいと思っても費用や専任者の確保が困難な中小事業所の皆様に、費用や負担額が少なく、容易に取り組めて、よりわかりやすい規格です。地域や地球環境への負荷の低減を図る活動に取り組むことによって、コスト削減等の環境経営を促進する仕組みです。全てのマネジメントシステムと同様に、P(計画)→D(実行)→C(チェック・見直し)→A(行動)のスパイラルアップの手順が構築され、マネジメントが身につきます。(右図)

M-EMSの特色

費用が少なく、わかりやすい規格であり、KES規格と同一の規格です。

1 シンプルなシステム

M-EMSの規格はISO14001の基本コンセプトと同じトップが定める「環境方針」に基づき、管理サイクルP,D,C,Aを循環させることによって継続的な改善を図ることにあります。中小規模事業所の状況や特性に応じた環境取組ができるよう2段階のレベルを設定しています。

- ステップ1** 規模や環境負荷が比較的大きくないところや環境問題に取り組み始めたところに適合
- ステップ2** 規模や環境負荷が比較的大きいところ、ステップ1を3年以上継続しているところに適合(ISO14001とほぼ同じ項目の規格になっています。)
- ステップ2SR** M-EMSではさらに、ステップ2を拡張したSRを取り込んだ2SRとエネルギーマネジメントに取り組める2Enがあります。
- ステップ2En**

また産業廃棄物事業所として「M-EMSステップ2W」の規格を用意しています。

2 少ない負担で取り組みます

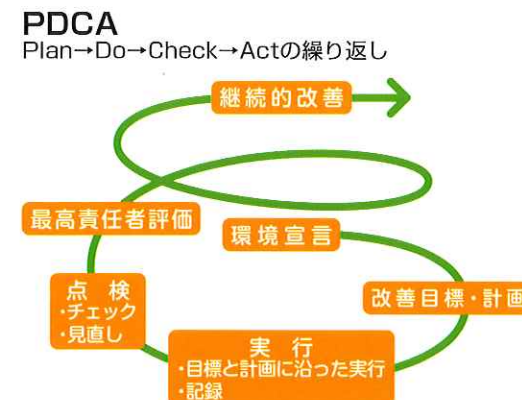
M-EMSの審査員はボランティアベースで運用することとしたため、低コストで審査、コンサルを実行することを可能としました。内容や表現を取り組み易くし、負担を減らすため「構築の手引き」や「マニュアルの事例」等も用意しています。

3 血のかよったシステム

「共に悩み、共に考える」をモットーに審査、コンサルを行います。

KES認証も同時に取得できます。

KES(KES・環境マネジメントシステム・スタンダード)認証のNPO法人KES機構と相互認証をしています。M-EMS認証登録することで、KES認証も同時に取得となります。産業廃棄物事業所はM-EMSステップ2Wを認証登録することで、エコアクション21と相互認証をしています。



M-EMS構築のメリット

*は事業者の声等

① コスト削減

環境と関係する経費を社員の自主的な活動のなかで削減することができます。

* 環境に取り組む姿勢をお客様にほめられました。無駄を省いてコスト削減が実感できました。我流では限界があり、M-EMSで理論的に取り組めたことがよかった。

② 企業価値の向上・コンプライアンスへの対応

地球に優しい事業所、三重を大事にする事業所として、社会的にも地域でも評価があがり、企業価値が向上します。又、環境規制の法規制順守(コンプライアンス)に対応できます。

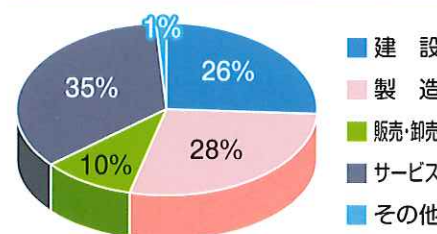
* また、三重県総合評価では、入札時ISO14001と、同等の加算点です。
* EA21との相互認証により、産廃優良事業者認定の要件に適用されます。

③ マネジメント力がつく

社員の意識が向上し一体感ができるとともに、仕組みが経営に役立ちます。

* M-EMS運用により、データが集まり(作業を)分析できるようになった。
* 社員の提案力・責任感が向上した。また、全社で環境を考える姿勢ができた。

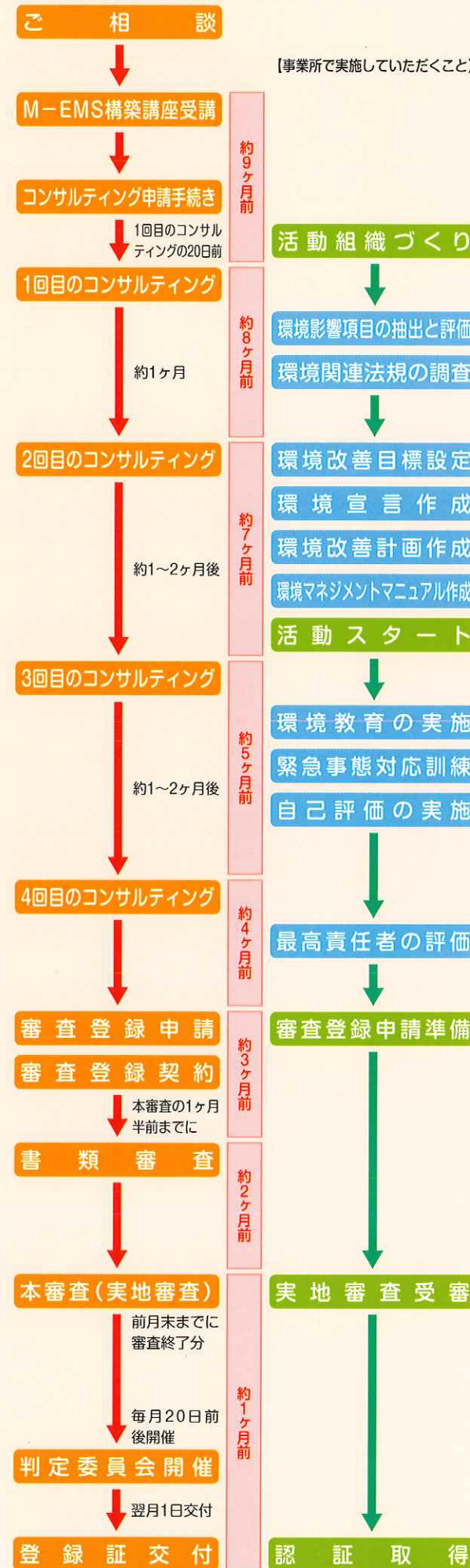
これまで多様な業種でM-EMSが取得されています



登録証交付の様子

M-EMS(ステップ2)の取組手順と取組内容

[M-EMS認証機構との手続き]



(ステップ1はもう少し短縮できます。)